

PAT-NO: JP405015223A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05015223 A
TITLE: LAWN MOWER
PUBN-DATE: January 26, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

OSHIMA, HIROSHI
YAMAGUCHI, MASATOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KUBOTA CORP

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP03170768

APPL-DATE: July 11, 1991

INT-CL (IPC): A01D034/68

US-CL-CURRENT: 56/239

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a lawn mower giving a beautifully mowed lawn by pushing the cut lawn grass into the lawn on the ground with a pushing rotor according to the movement of the machine body, thereby hiding the cut grass with the grown lawn and preventing the blow-off of the grass by the wind.

CONSTITUTION: The objective walking-type or riding-type lawn mower has a pair of right and left front wheels 2 in front of the mower 1, a pair of right and left rear wheels 3 and an operation handle 4 at the

back of the mower 1, an engine 5 above the mower 1 and a cutting blade 6 rotating around a vertical shaft P1 in the mower 1. A pair of right and left arms 8 are supported around the shaft 3 of the rear wheels 3 in a vertically movable state and a pushing rotor 7 composed of plural sets of pushing disks 10 and cylindrical spacers 11 extending over the whole length of the supporting arm 8 is supported by a shaft 9. The pushing rotor 7 placed at the back of the mower 1 pushes the cut lawn grass into the lawn A on the ground according to the movement of the machine body.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-15223

(43)公開日 平成5年(1993)1月26日

(51)Int.Cl.⁵

A01D 34/68

識別記号

庁内整理番号

K 8405-2B

FI

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-170768

(22)出願日 平成3年(1991)7月11日

(71)出願人 000001052

株式会社クボタ

大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号

(72)発明者 大島 博

大阪府堺市石津北町64番地 株式会社クボタ堺製造所内

(72)発明者 山口 正敏

大阪府堺市石津北町64番地 株式会社クボタ堺製造所内

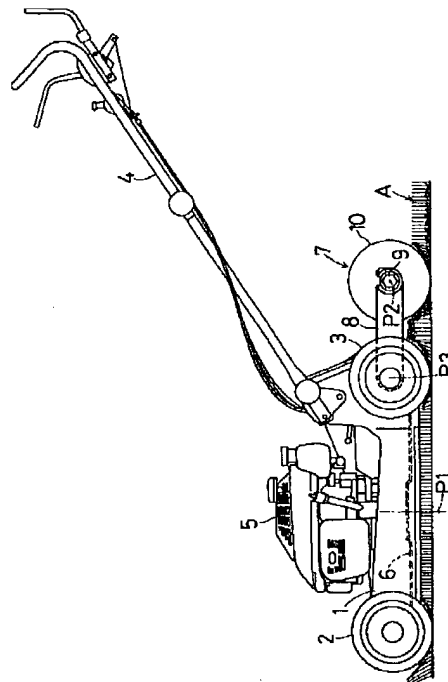
(74)代理人 弁理士 北村 修

(54)【発明の名称】 芝刈機

(57)【要約】

【目的】 モーアにて刈り取った刈芝を集草容器等に特に回収しない型式の芝刈機において、刈芝が風で吹き飛ばされないように、又、刈跡が見苦しくないようにする。

【構成】 機体の進行に伴い、回転によって刈芝を地面の芝内に押し込んで行く押込回転体7を、モーア1の後側に備えている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 機体の進行に伴い、回転によって刈草を地面の芝内に押し込んで行く押込回転体(7)を、モータ(1)の後側に備えている芝刈機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は歩行型又は乗用型の芝刈機において、刈草の処理の構造に関する。

【0002】

【従来の技術】歩行型又は乗用型の芝刈機においては、モータにて刈り取った刈草を集草容器等に回収したりせずに、地面の芝上にそのままにしておくような型式のものがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前述のような型式の芝刈機においては芝刈り作業後に地面の芝上に刈草が残るので、特に強風が吹いた際には刈草が吹き飛ばされてしまう場合がある。又、地面の芝上に刈草が残っていると刈跡が見苦しくなる場合がある。本発明は刈草を回収しない型式の芝刈機において、刈草が強風で吹き飛ばされたり、刈跡が見苦しくなったりしないように構成することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の特徴は以上のように刈草を回収しない型式の芝刈機において、次のように構成することにある。つまり、機体の進行に伴い、回転によって刈草を地面の芝内に押し込んで行く押込回転体を、モータの後側に備えている。

【0005】

【作用】前述のような押込回転体をモータの後側に配置すると、モータにて刈り取られて地面の芝上に置かれた刈草は、この押込回転体により地面の芝内に順次押し込まれて行く。このように刈草を地面の芝内に押し込んでしまえば、この地面の芝内に刈草が保持された状態となるので、刈草が風で吹き飛ばされるようなこともなくなる。そして、刈草が地面の芝内に隠れるような状態となるので、刈跡が見苦しくなるようなこともない。

【0006】

【発明の効果】以上のような押込回転体を装備することにより、刈草が風で吹き飛ばされるようなこともなく刈草が地面の芝内に隠れるので、吹き飛ばされた刈草の回収等の余計な作業の必要なしに、きれいな仕上がりが得られるようになる。

【0007】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。図3に示すように、刈刃ハウジング1(モータに

相当)の前部に左右一対の前輪2、後部に左右一対の後輪3及び操縦ハンドル4を備えると共に、刈刃ハウジング1の上部にエンジン5を備えて歩行型の芝刈機が構成されている。刈刃ハウジング1内には、縦軸芯P1周りに回転駆動される刈刃6が備えられている。

【0008】次に、刈刃ハウジング1の後側に配置される押込回転体7について説明する。図1、2、3に示すように、後輪3の車軸芯P3周りに、自由上下揺動自在に支持アーム8が左右一対支持されており、この左右の支持アーム8に亘って押込回転体7が支持されている。この押込回転体7は、支持軸9に円盤状の押込板10及び円筒状のスペーサ11を複数組交互に取り付けて構成されており、支持軸9の軸芯P2周りに各押込板10及びスペーサ11が自由回転するように構成されている。

【0009】以上の構成により、図3において紙面左方に芝刈機を進行させながら芝刈り作業を行うと、この芝刈機の進行に伴って押込回転体7の各押込板10及びスペーサ11が紙面反時計方向に回転する。従って、回転する各押込板10及びスペーサ11により刈草が地面の芝A内に押し込まれて行くのである。

【0010】そして、芝A等の状態によっては押込回転体7のスペーサ11を異なる長さのものに交換して押込板10の横方向の配列ピッチを変更したり、外径の異なる押込板10に交換したりするのである。

【0011】〔別実施例〕前述の実施例における押込板10は円盤状であるが、複数組のアームを放射状に配列してこの押込板10を形成してもよい。又、押込回転体7全体を自由回転させるのではなく、エンジン5の動力にて強制的に回転駆動するように構成してもよい。そして、自由回転又は駆動回転される押込回転体7を機体左右方向に平行ではなく、機体左右方向に対して斜めに配置してもよい。そして、前輪の前側又は前輪と後輪の間にモータを配置した乗用型の芝刈機に対して、本発明の押込回転体7を設けてもよい。

【0012】尚、特許請求の範囲の項に図面との対照を便利にする為に符号を記すが、該記入により本発明は添付図面の構成に限定されるものではない。

【図面の簡単な説明】

【図1】押込回転体を備えた歩行型の芝刈機を下から見た底面図

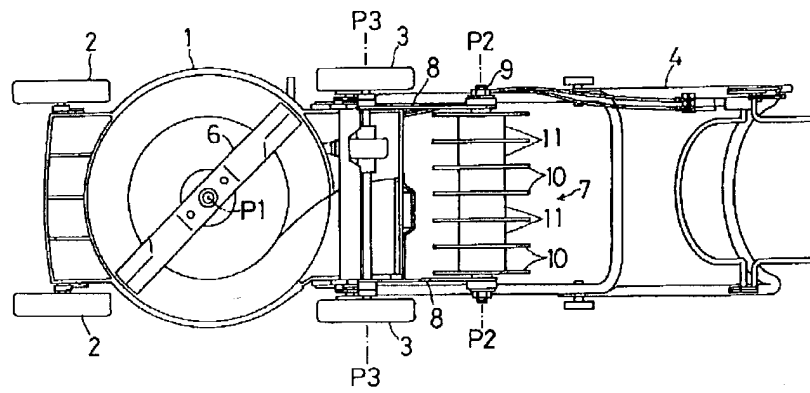
【図2】押込回転体の平面図

【図3】押込回転体を備えた歩行型の芝刈機の全体側面図

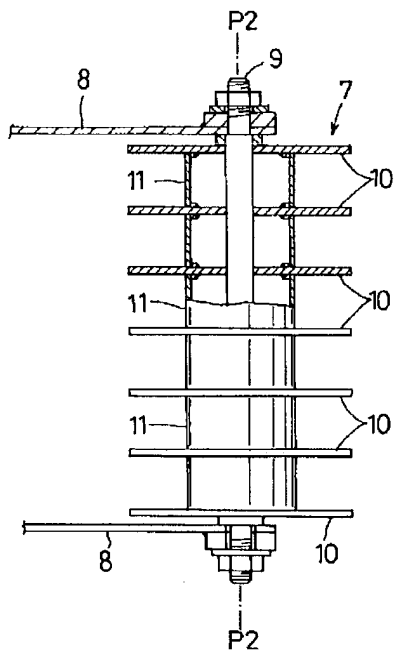
【符号の説明】

- 1 モータ
- 7 押込回転体

【図1】



【図2】



【図3】

